



岐阜県 笠ヶ岳



304 笠ヶ岳「馬」の雪形（1974年5月5日 上宝村蔵柱村より 小池潜・写）

305

岐阜県と長野県とは、わが国でも肩を並べる山国であるのに、雪形の上では全く比べものにならぬほどの違いがある。そんなはずはないと同県内の山関係の縁辺をたぐって執拗に尋ねてまわった。しかし収穫は皆無であった。よく聞いてみると、その原因はどうやら地形に負うところが大きいように思われた。

つまり同じ山国でも飛驒の国は谷が狭く、前山が迫ってひらけた平野部から直接高い山を望見することが不可能なことである。それにしても私が以前から知っていたこの笠ヶ岳の「馬」が結局唯一の飛驒の国の雪形とは、いかにも寂しい極みである。

笠ヶ岳は飛驒の国の名山として古くから尊崇厚い山である。ある意味でこの山が飛驒専属の唯一の高山といえるかもしれない。というのは槍や穂高、双六などの名峰は、他国と境を接した、いわば共有物で、飛驒独自の山とはいえないからである。ここに添えた縫いぐるみの馬は、高山市の土産物店で目にしたもので、笠ヶ岳の「駒」の雰囲気になんとなく通ずるものがあるように思われて面白い。（特別寄稿「越中の雪形」参照）